

カーラジオ用FMトランスミッター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DCC-FMT1

© 2004 Sony Corporation Printed in China

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

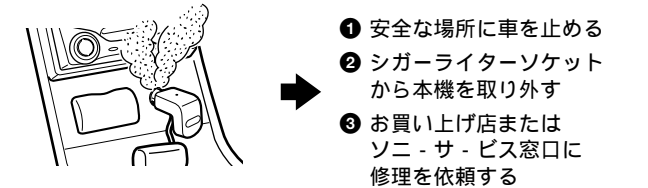
安全のための注意事項を守る
この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する
運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。
・運転者は走行中に操作をしない。
・車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する
1年に1度は、本体が痛んでいないか、配線したケーブル類がからまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、本体やケーブル類が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら
変な音・においがしたら、煙が出たら



- ➡
- ① 安全な場所に車を止める
 - ② シガーライターソケットから本機を取り外す
 - ③ お買い上げ店またはソニー・サービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止

警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと、**火災・感電により死亡や大けが**の原因となります。

運転中に操作しない

- ・運転をしながらの操作は、危険ですので絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- ・本機の操作や設置は、危険ですので運転中には行わないでください。



禁止

エアバッグシステムの動作を妨げる取り付けをしない

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



禁止

運転操作や車体の可動部を妨げる取り付けはしない

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、と、事故や感電、火災の原因となります。
・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
・コード類はまとめる。
・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。
本機内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換する時は、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止

主な特長

本機(カーラジオ用FMトランスミッター)は、MD/CD/Networkウォークマンなどのポータブルオーディオ機器の再生音をFM電波でカーステレオ(カーFMラジオ)に送信します。これにより、ポータブルオーディオ機器の再生音をカーFMラジオで楽しむことができます。

安定したクリアな音声を実現
・フレキシブル送信アンテナを採用することにより、車種を限定せず安定したFM電波送信を実現します。
・送信周波数選択回路にデジタル方式を採用することにより、アナログ方式で起こる送信周波数のズレを防止します。

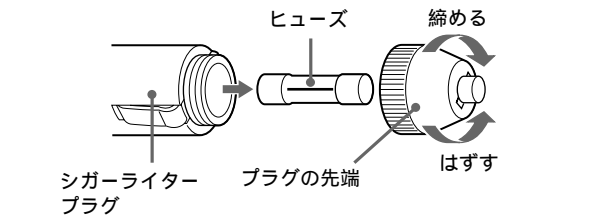
周波数選択ダイヤルによる簡単操作を実現
送信FM周波数を14チャンネルから選ぶことができます。

電池不要のカーバッテリー駆動
12Vと24Vのカーバッテリーの両方に対応しているので、乗用車(12V)から大型トラック(24V)まで、幅広い車種で使用できます。

“ウォークマン”、“WALKMAN”はヘッドホンステレオ商品を表わすソニー株式会社の登録商標です。

ヒューズの交換

本機が正常に動作しない場合は、シガーライタープラグ内部のヒューズが切れていないかを確認してください。



- シガーライターソケットから本機を抜いてください。
- プラグの先端部分を回してはずします。
- ヒューズを取り出します。
- ヒューズが切れていないか確認します。
切れている場合は、手順5へ
切れていない場合は、手順6へ
- 新しいヒューズを用意します。
市販の同じ定格のヒューズ(▽1A 125V、長さ約20mm)をお求めください。
- ヒューズを差し込みます。
- プラグの先端を元通りにしっかり締めます。

ご注意

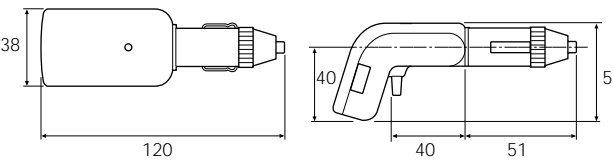
- ・市販の同じ定格のヒューズ(▽1A 125V、長さ約20mm)をお求めください。
- ・定格の異なるヒューズをご使用になると故障や火災の原因になります。
- ・ヒューズを針金などで代用しないでください。
- ・ヒューズを交換したあとも、再び切れるような場合には、お買い上げ店にご相談ください。

使用上のご注意

- ・機器の操作は、運転中や停車中ではなく安全な場所に駐車してから行ってください。
- ・車のエンジンが止まっている間は、本機をシガーライターソケットから抜いておいてください。イグニッションキーをOFFにしても電源がきれない車種があります。このような場合は、本機をシガーライターソケットに差したまま放置すると、車のバッテリーが消耗する原因となります。
- ・本機を使用しないときは、運転操作や可動部の妨げにならないように保管してください。
- ・車が急ブレーキをかけた際に、本機に接続したポータブルオーディオ機器が動かないようにしっかりと固定してください。
- ・アンテナやケーブル類は、運転操作や可動部の妨げにならないように設置してください。
- ・ケーブル類を強く引っ張らないでください。断線、故障の原因になります。
- ・落としたり強い衝撃をあたえないでください。故障の原因になります。

主な仕様

送信方式	マルチプレックス ステレオ方式
送信周波数	76.8MHz, 77.0MHz, 77.2MHz, 77.4MHz, 77.6MHz, 77.8MHz, 78.0MHz, 88.0MHz, 88.2MHz, 88.4MHz, 88.6MHz, 88.8MHz, 89.0MHz, 89.2MHz
電界強度	500uV/m 以下(3m)
電源電圧	DC 12/24 V(マイナスアース車専用)
入力端子	φ 3.5 ステレオミニプラグ
最大外形寸法	

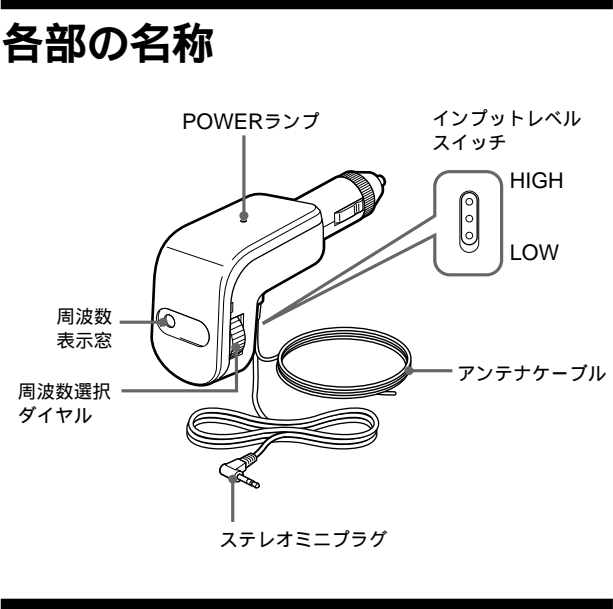


信号ケーブルの長さ	約 1.2 m
アンテナケーブルの長さ	約 3 m
質量	約 80 g
付属品	取扱説明書(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
お客様ご相談センター
● ナビダイヤル……………0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX……………0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



接続のしかた

カーラジオを設定する

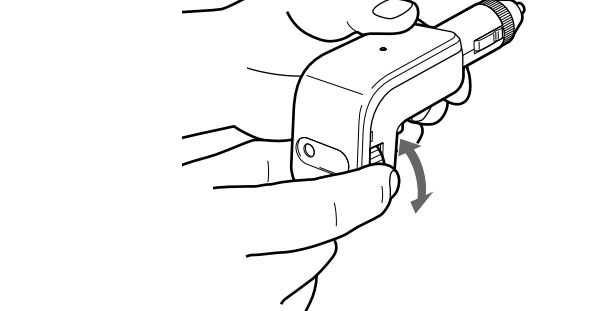
- カーラジオをFM放送が受信できるような状態にする。
- 下記の中から放送を受信していない周波数を選ぶ。
76.8MHz, 77.0MHz, 77.2MHz, 77.4MHz, 77.6MHz, 77.8MHz, 78.0MHz, 88.0MHz, 88.2MHz, 88.4MHz, 88.6MHz, 88.8MHz, 89.0MHz, 89.2MHz

別の地域に移動した場合、選んだFM周波数で放送を受信してしまうことがあります。このような場合は、放送を受信していないFM周波数を再度お選びください。

- ご注意
- カーラジオの設定方法に関しては、カーラジオの取扱説明書をご覧ください。
 - カーラジオの音量は、なるべく小さい音量に設定しておいてください。

本機を設定する

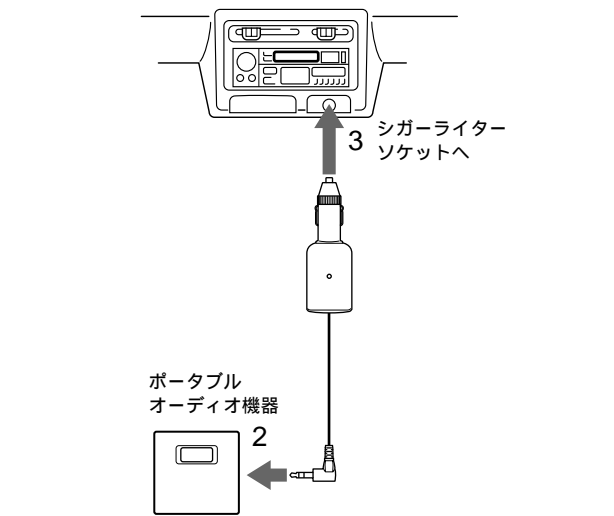
- 周波数選択ダイヤルを回して、カーラジオで設定した周波数を選ぶ。



Ⓛ表示は低い周波数帯と(76.8MHz~78.0MHz)高い周波数帯(88.0MHz~89.2MHz)の間の区切りです。周波数選択の目安としてご使用ください。

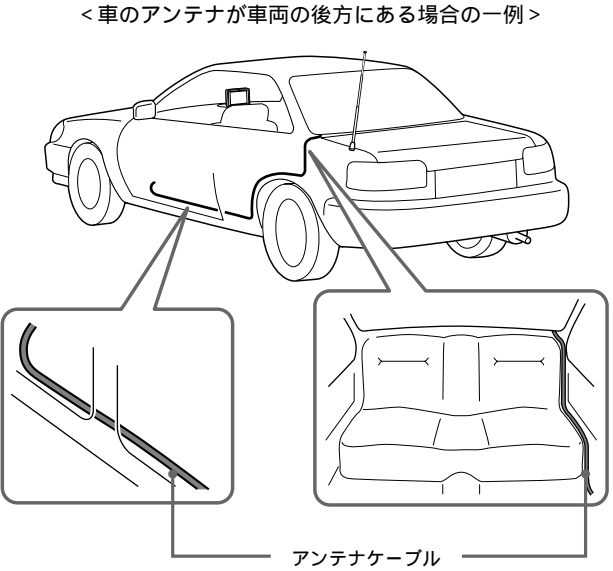
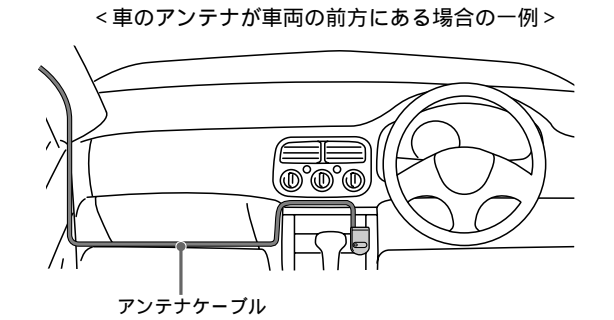
- ステレオミニプラグをポータブルオーディオ機器のLINE OUT(ライン出力)端子に差し込む。
ポータブルオーディオ機器にLINE OUT(ライン出力)端子がない場合は、ヘッドホン端子に接続してください。
インプットレベルスイッチについて
HIGH:LINE OUT(ライン出力)やヘッドホン出力に接続した場合通常はこのポジションでお使いください。
LOW:ポータブルオーディオ機器のヘッドホン端子に接続していてポータブルオーディオ機器の音量を上げても再生音が小さい場合はこのポジションにしてください。

- 車のシガーライターソケットに本機を差し込む。



- 接続したポータブルオーディオ機器を再生する。
- カーラジオでの受信状態が良くなるようにアンテナケーブルを車内に設置する。

- ご注意
- 受信状態が悪い場合は、アンテナケーブルを車のアンテナ近くになるように設置すると受信が良くなる場合があります。
 - アンテナケーブルの設置は、運転操作の邪魔にならないように、また幼児の手の届かないように設置してください。
 - ケーブルは、運転操作の邪魔にならないようにまとめて固定してください。
 - 市街地などでは、受信する環境によって妨害電波の影響を強く受け、音が途切れたり、ノイズが入ったりする場合があります。妨害による影響が大きい場合は、より影響の少ないチャンネルをお選びください。
 - 車のアンテナ位置は車の取扱説明書をご覧ください。
 - エアバックシステムの動作を妨げる取り付けをしないでください。



2つのイラストは、一例でありご使用になられている車の状況により送受信状態が変わります。最良の受信状態になるようアンテナケーブルを設置してください。

- ご注意
- 運転中に本機または、接続したポータブルオーディオ機器を操作することは大変危険です。安全な場所に駐車してから行ってください。
 - シガーライターソケットへの接続はしっかりと確実に行ってください。

- CDやMDの音をカーラジオで聞くときのご注意
- ヘッドホン端子に接続した場合は、ポータブルオーディオ機器のバスブーストやイコライザーの調節の機能は解除(動作しないように)しておいてください。設定方法は、ご使用になるポータブルオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
 - 接続したポータブルオーディオ機器のボリュームを音がひずまない範囲でなるべく大きくしてください。

ヒント
本機をポータブルオーディオ機器のヘッドホン端子に接続していて、ポータブルオーディオ機器の音量を上げても再生音が小さい場合は、本機のインプットレベルスイッチを、LOWに切り換えてください。
それでも音量が小さい場合は、カーラジオのボリュームで調整してください。

故障かな?と思ったら

症状	原因 / 処置
ポータブルオーディオ機器の音がカーラジオから聞こえない	<ul style="list-style-type: none">本機がシガーライターソケットやポータブルオーディオ機器へ正しく接続されていない正しく接続する。本機で選んだ送信周波数とカーFMラジオの周波数が一致していない 本機の送信周波数とカーFMラジオの周波数を一致させ、送受信可能な状態にする。接続したポータブルオーディオ機器からの音が出ていない ポータブルオーディオ機器を再生状態にする。 ポータブルオーディオ機器のヘッドホン端子に接続している場合は、音がひずまない範囲でポータブルオーディオ機器の音量を上げる。
音が小さい	<ul style="list-style-type: none">接続したポータブルオーディオ機器の音量が小さい ポータブルオーディオ機器のヘッドホン端子に接続している場合は、音がひずまない範囲でポータブルオーディオ機器の音量を上げる。 それでも音が小さい場合は、本機のインプットレベルスイッチをLOWにする。 本機のインプットレベルスイッチをLOWにしても音が小さい場合は、カーFMラジオの音量を上げる。
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none">入力信号が大きすぎる ポータブルオーディオ機器のヘッドホン端子に接続している場合は、音がひずまなくなるまでポータブルオーディオ機器の音量を下げる。 ポータブルオーディオ機器のLINE OUT(ライン出力)端子に接続している場合は、本機のインプットレベルスイッチをHIGHにする。接続したポータブルオーディオ機器のバスブースト機能を使用している ポータブルオーディオ機器のバスブースト機能を解除する。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">本機で選んだ送信周波数とカーFMラジオの周波数が一致していない 本機の送信周波数とカーFMラジオの周波数を一致させ、送受信可能な状態にする。カーFMラジオの受信状態が悪い カーFMラジオでの受信状態が良くなるように本機アンテナケーブルを車内に設置する。(車のアンテナの近くになるように設置すると受信状態が良くなる場合があります。)選んだ周波数が放送に使用されている放送を受信していない(「サー」という音しか聞こえない)周波数を選ぶ。別の用途や妨害電波の影響を受けている 別の用途で使用していない、または妨害電波の影響の少ない(「サー」という音しか聞こえない)周波数を選ぶ。
音が途切れる	<ul style="list-style-type: none">市街地などで妨害電波の影響を強く受けている妨害電波の影響の少ない(「サー」という音しか聞こえない)周波数を選ぶ。
POWERランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">本機がシガーライターソケットへ正しく接続されていない 正しく接続する。イグニッションキ - をONにしないと通電状態にならない車種である イグニッションキ - をONにする。ヒューズが切れている ヒューズを交換する。